

こうしゅつ 市議会広報

29号

2013. 1. 30 発行
山梨県甲州市議会

伝統の小正月・甲州市道祖神まつり
(藤木道祖神祭太鼓乗切)



安倍宗任

- 特集 12月定例会レポート P2~
 - ・甲州市景観条例を可決
 - ・第8代議長に曾根益彦議員が当選
- 市民フォーラム「わたしのエコロジー」 P5
- 一般質問 7人の議員が市政を問う！ P6~
- 委員会レポート P14~

39件を審議

景観条例を可決

平成24年度甲州市議会12月定例会は、11月29日から12月19日までの21日間の会期で開かれ、平成24年度一般会計補正予算案、条例案、契約案、人事案など39件の事件について慎重な審議を行いました。また、今議会では議長選挙が行われ、常任委員会等の所属構成も一部変更されました。主な議決内容を要約してお伝えします。

平成24年度一般会計 総額は172億円余

◆甲州市景観条例については、景観法に基づき、景観行政団体として「市景観計画」を策定し、運用していくに当たり、必要な基準や施策等を定め、本市の恵まれた景観を守り、育て、創造しながら次世代に継承していくために、市、市民及び事業者がそれぞれその果たすべき役割を認識し、協働による景観づくりを推進するために制定するもので、可決しました。

◆平成24年度甲州市一般会計補正予算(第5号)は、3億4705万9000円を追加し、歳入歳出をそれぞれ169億8426万3000円としました。主な

歳出内容は、総務費として庁舎等維持管理事業費等に6611万9000円、民生費として障害者自立支援給付費等に1億7062万7000円、公債費として1億23万8000円を追加しました。主な歳入内容は、**国庫支出金**に5906万1000円、**県支出金**に3831万2000円、**寄附金**に3083万6000円、**繰越金**に1億781万2000円、**市債**に1億1097万2000円を追加するものです。本会議では、「可決すべきもの」として各常任委員長の報告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で可

決しました。

■委員長報告に反対討論

野尻陽子 2年前に開庁したばかりの市役所本庁舎に約4700万円を費やしての会議室増設は、民間企業であればあり得ないことである。これからの時代、少ない財源を市民の福祉向上のために活用することが行政には求められている。多くの庶民が経済的な厳しさや将来への不安を抱える時代に、会議室増設のために多額の予算を支出することは容認できない。よって本補正予算案に反対する。

■採決結果(各常任委員長の可決の報告に対して)

賛成14 廣瀬元久 田邊民男 廣瀬宗勝 岡武男 曾根益彦 平塚義 古屋久



豊かで特色ある本市の景観。景観計画を通じて、次世代に継承していかなければならない

廣瀬一 矢野義典 丸山国

一 桐原正仁 中村勝彦

川口信子 佐藤大輔

反対3 野尻陽子 古屋

匡三 廣瀬重治

◆平成24年度甲州市一般会計補正予算(第6号)は、産地再生関連施設緊急整備事業に対する補助金が採択されたため、それに係る経費として、2億7435万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ172億5861万3000円としました。歳出内容は、**農林水産業費**として農業振興一般経費に2億7435万円を追加するものです。主な歳入内容は、**県支出金**に2億5435万円、**繰越金**に2000万円を追加するもので、可決しました。

補正予算案など

甲州市

宮光園白蔵保存修復工事 請負契約金は1億8396万円

◆宮光園白蔵保存修復工事請負契約締結については、日本のワイン産業草創期の遺構である宮光園の歴史を後世に伝えるとともに、市観光交流の拠点施設として活用するため、保存修復を実施するものです。本事業は、事後審査型条件付一般競争入札を実施した結果、契約金額が1億8396万円、請負業者は株式会社熊谷組（東京都新宿区）、株式会社石川工務所（甲州市塩山）の共同企業体となりました。なお、本会議では「可決すべきもの」とした建設経済常任委員会の委員長報

告に異議が出されましたが、討論・採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

◆委員長報告に反対討論

野尻陽子 宮光園修復工事契約は今回が2回目であるが、前回と同様に応札は同じ企業体のみで、落札額は予定額と同額、落札率は100割であった。特定業者以外に修復工事が実施できないのであれば、市は直接価格交渉をするべきであった。入札の基本は、競争の原理を働かせ、より合理的な価格で物品購入・工事発注をすることである。価格競争が無く、落札率が100割で契約されることは絶対に避けるべきであり、委員長報告に反対する。

■採決結果（委員長報告に對して）

- 賛成12 廣瀬元久 廣瀬宗勝 岡武男 曾根益彦 平塚義 古屋匡三 古屋久 廣瀬一 矢野義典 丸山国一 桐原正仁 中村勝彦 陽子 廣瀬重治 川口信子 佐藤大輔

大正時代にワイン蔵として建設された宮光園白蔵。観光交流の拠点施設として活用するため、保存修復工事が実施される



第8代議長に 曾根益彦議員が当選

副議長は佐藤大輔議員が留任

12月定例会では議長選挙が行なわれ、曾根益彦議員（68・塩山西広門田）が新議長に当選しました。

【議長】 曾根益彦

【副議長】 佐藤大輔

【委員会構成】（◎委員長、○副委員長、年齢順）

◆総務常任委員会

- ◎平塚義 ○野尻陽子
廣瀬元久 田邊民男
廣瀬宗勝 曾根益彦
川口信子 古屋久
矢野義典 桐原正仁
中村勝彦 佐藤大輔

◆教育民生常任委員会

- ◎廣瀬重治 ○川口信子
岡武男 野尻陽子
古屋匡三 古屋久
矢野義典 桐原正仁
中村勝彦 佐藤大輔

◆建設経済常任委員会

- ◎古屋匡三 ○丸山国一
曾根益彦 夏八木盛男
廣瀬一 廣瀬重治
矢野義典 桐原正仁
中村勝彦

◆議会運営委員会

- ◎中村勝彦 ○田邊民男
廣瀬元久 廣瀬宗勝
平塚義 廣瀬重治
矢野義典 桐原正仁

◆議会広報編集委員会

- ◎桐原正仁 ○古屋久
廣瀬元久 岡武男
古屋匡三 廣瀬重治

◆東山梨行政事務組合

- 廣瀬元久 廣瀬宗勝
野尻陽子 平塚義
夏八木盛男 廣瀬一
丸山国一 桐原正仁

◆峡東地域広域水道企業団

- 岡武男 曾根益彦
廣瀬重治

◆東山梨環境衛生組合

- 古屋匡三 古屋久
夏八木盛男 佐藤大輔
釈迦堂遺跡博物館組合

◆甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合

- 丸山国一 中村勝彦
川口信子 佐藤大輔

◆山梨県後期高齢者医療広域連合

- 廣瀬一 岡武男

議案の審議

笹子トンネル天井板崩落事故で

国道20号の安全対策を求める意見書を提出

◆中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故に伴う国道20号の安全対策を求める意見書の提出については、全会一致で可決され、関係省庁及び山梨県に意見書を提出しました。この意見書は、中央自動車道笹子トンネルが完全復旧するまでの間、通行止め期間中のう回路となる国道20号について、円滑な通行を確保し、地域住民の安全と生活を守るべく、①交通事故防止に向けて、②通行止めや、う回路等に関する情報提供の徹底を図

ること、③路面凍結の予防、降雪時の除雪を徹底すること、④仮設トイレや臨時休憩所の設置等、利用者の利便性を図ること、⑤復旧工事の関係車両については朝夕の通行を制限することを求めたものです。

可視化を求める請願採決により不採択

◆6月定例会に提出され、総務常任委員会において、議会閉会中の継続審査となっていた「取調べの全過程の可視化を求める意見書」

の採択を求める請願について審議を行いました。本会議では、本請願を不採択とした総務常任委員長の審査報告に異議が出され、委員長の報告のとおり不採択としました。

■委員長報告に反対討論

川口信子 現在、検察・警察による取調べは密室で行われている。そのため、供述と異なる調書が作成されるなど、えん罪が生み出される原因となっている。近年でも不当な取調べによるえん罪事件が起きており、

取調べの全過程の可視化が求められている。よって委員長報告に反対する。

■採決結果（請願内容に対して）

賛成3 野尻陽子 廣瀬

一 川口信子

反対14 廣瀬元久 田邊

民男 廣瀬宗勝 岡武男

曾根益彦 平塚義 古屋匡

三 古屋久 廣瀬重治 矢

野義典 丸山国一 桐原正

仁 中村勝彦 佐藤大輔

◆人権擁護委員に丸山達也氏

（60・塩山上萩原）、廣瀬博氏（65・塩山福生里）、熊谷えり子氏（60・塩山赤尾）、山田克巳氏（62・勝沼町菱山）を推薦することに同意しました。

◆議会選出の市監査委員

に、岡武男議員（70・塩山中萩原）を選任することに異議が出され、採決の結果、可否同数となったため、議長裁決により同意しました。

■採決結果（原案に対して）

賛成8 田邊民男 廣瀬

宗勝 平塚義 古屋久 夏

八木盛男 桐原正仁 中村

勝彦 佐藤大輔

反対8 廣瀬元久 野尻

陽子 古屋匡三 廣瀬一

廣瀬重治 矢野義典 丸山

国一 川口信子



各常任委員会を含め21日間の会期で開催された12月定例会



中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故の影響で慢性的な渋滞が発生した国道20号。甲州市議会は、安全対策を求め関係機関に意見書を提出した



わたしのやさやかなエコツーリズム

三科典子さん（塩山西広門田）

人間生活は、自然との調和で成り立つものであるが、文化の発達に伴い、時にはその自然を破壊してしまうこともある。地球温暖化はそのひとつであろう。そんな自然を少しでも取り戻すため、エコツーリズム等のさまざまな活動が推進されているが、これらに共通のフレーズは「地球に優しい」ということだ。そこでわたしは、5年前から循環型作物として知られるナバナの栽培を始めた。ナバナは二酸化炭素や有害物質の吸収に役立つと共に、花は早春の栄養食品であり、種は油の原料となり、油かすは肥料に、廃油は燃料に活用されている。ナバナは現在30センチに成長している。この栽培を通して多くの人々と交流するのもわたしの楽しみのひとつである。



我が家で心掛けているエコ

遠藤一男さん（塩山赤尾）

分別収集でエコに参加している。しかし電気に対しては深く考えることはありませんでした。3・11までは……。生活の中では、プルタブを集め、収集している治療院へ。切手、ボトルキャップは孫が学校へ。広告の裏はらくがき帳、メモ用紙に。雨水はドラム缶にためて庭の水やり。スイッチ類はこまめにコンセントを抜き、使わない電気はすぐに消す。湯たんぽ、寒い時のおひさま、水不足時の雨、請求書はなくありがたい。自然も大切だ。節約は儉約なり。使用量明細に「昨年の同月と比べて〇割減」とあるのを見て、少しは努力できたかと確認。特別なことはできませんが、できることを心掛け続けることが大切だと思います。



子どもにも伝えていきたいエコ活動

保坂真也さん（勝沼町勝沼）

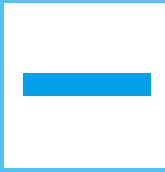
「パパ、電気つけっぱなし。ダメだよ！」ある日、トイレから出たわたしに4歳の息子が言った一言です。普段から節水や節電、ゴミの分別など、身近でできることを実践し、息子にも物を大切にすることや、エコロジーの大切さを話していたのですが、まだまだ心掛けが足りないと感じました。わたしにできること、それは大きな規模での取り組みに比べると小さいことかもしれませんが。しかし、日常生活の中でできるエコ活動に取り組む姿勢を、子どもたちにも見せていくことが大切なのではないかと思えました。改めて、息子の言葉を思い返し、わずかではありますが、そんな思いが伝わっているのだと嬉しく感じました。



庭も畑も自然のままに

高島和美さん（勝沼町菱山）

ある日、隣の奥さんから「精米をしてぬかがたくさんあるんだけど要る？」と声をかけられました。「要ります！」とわたし。実はその数日前に新聞で、庭にぬかをまくことで野鳥が集まり、何万匹という害虫を食べてくれるという記事を読んだばかりだったので。果たして……。いつも悩まされていた毛虫等が格段に少なくなり、また、小鳥たちの落し物が良い肥料になり、草木が生き生きとしてきたのです。その他に、夫は落ち葉を集めて腐葉土作りに励んでいます。庭の落ち葉をゴミとして出せば、税金を使うことになりましたが、自家製腐葉土を冬の土作りに利用し、落ち葉を大事に集めてたぐいまれな熟成中。わたしのやさやかなエコロジーです。



一
般

質

問

7人の議員が市政を問う!!



1. 野尻 陽子 議員	フォーラム甲州	7 ページ
2. 川口 信子 議員	日本共産党	8 ページ
3. 岡 武男 議員	政和クラブ	9 ページ
4. 廣瀬 重治 議員	フォーラム甲州	10 ページ
5. 田邊 民男 議員	政和クラブ	11 ページ
6. 矢野 義典 議員	公明党	12 ページ
7. 廣瀬 宗勝 議員	甲輝会	13 ページ

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

12月定例会では、産業・教育・福祉・環境・基盤整備
など市政全般にわたり、一般質問が行われました。
それぞれの内容を要約してお伝えします。



野尻陽子議員

フォーラム甲州

競争のない入札は見直しが必要では
入札公告の内容等を検討していく

問 今議会に提出された宮光園白蔵保存修復工事請負契約については、平成21年に執行された宮光園主屋保存修復工事請負契約と同様に、一般競争入札の応募が同一の1企業のみで、落札額は予定額と同額、落札率は100%であった。入札の基本は競争の原理を働かせることであり、極めて憂いべき問題である。応札が1社のみの場合、不成立とし、再度募集することも必要と考えるが市当局の考えを伺いたい。

答 管財課長 今議会に提出した契約案件については、一般競争入札事務処理要綱に基づき執行している。今後は特殊な工事内容にもよるが、入札公告の内容等について検討していきたい。

問 宮光園については、今後も整備計画が実施されると聞くが、次回以降の入札執行について市当局の考

えを伺いたい。

答 管財課長 予定価格の事後公表など入札要件の内容等を検討していく。

問 宮光園修復工事の特殊性について伺いたい。

答 観光交流課長 今回修復工事を実施する白蔵は、大正時代にワイン蔵として建設され、地下が石積みになっていて、国内でも希少で、工法的にも調査と平行しての修復となるため、非常に特殊な工事である。

人口減少時代の水道事業計画は

問 平成17年度と平成23年度の有収水量の較差を伺いたい。

答 水道課長 上水道と簡易水道を合わせた年間総有収水量は平成17年度が412万5400立方メートル、平成23年度が363万6800立方メートルである。合併当時



入札は透明性、公平性を確保し、関係法令に従って実施されている

と比較し48万8600立方メートル減少している。

問 人口減少の時代に、今後、水道施設をどのように整備していくのか。

答 水道課長 毎年計画的に老朽管等の布設替え工事を実施している。今後とも老朽管や老朽施設の改修を計画的に実施していく。

問 今後の水道料金改定について市当局の考えを伺いたい。

答 水道課長 今年度の水道会計決算状況や、策定した水道事業長期計画の結果を考慮したなかで検討し、判断していきたい。

問 既に整備が完了している大和地域の下水道と合併浄化槽の事業概要を伺いたい。

答 都市整備課長 大和地域は、生活排水処理対策として、下水道普及と浄化槽設置に取り組んでおり、事業目的である住環境の改善と公共水域の水質保全が図られている。

問 大和地域における下水道事業の経営状況を伺いたい。

答 都市整備課長 平成23年度の決算状況では、下水道事業の使用料収入が約1300万円、維持管理費が約2800万円、一般会計からの繰入額が約8900万円である。浄化槽事業については使用料収入が約85万円、維持管理費が約150万円、一般会計からの繰入額が約265万円である。

川口信子議員

日本共産党



住環境の整備や地域経済対策のため、住宅リフォーム助成制度の創設を求める声がある

Q 住宅リフォーム助成制度の創設を

A 耐震改修事業等も踏まえて検討

問 住環境の整備や地域経済対策のため、住宅リフォーム助成制度の創設が必要と考えるが、これまでの精査内容を伺いたい。

答 建設課長 現在、実施している住宅耐震改修事業も考慮するなど、さまざまな状況を踏まえて検討し

ていきたい。

問 8月に成立した子ども・子育て新システム関連法案の内容を伺いたい。

答 子育て対策課長 保育所、幼稚園、放課後児童クラブ、児童手当、妊婦健診等、地域の子ども・子育て支援の充実を図ろうとする新制度の創設である。

問 この法案は、地方自治体が保育に対する公的責任を縮小しているが、市当局の見解を伺いたい。

答 子育て対策課長 保育実施責任は、公的保育制度のかなめである。新制度においても、今まで以上に取り組んでいきたい。

問 本市は、知的障害者等が入所するグループホームやケアホームが不足しているが、整備の計画や目標はあるのか。

答 福祉介護課長 現在、市内には長期待機者がいないことから、施設設置の計

画はない。

問 9月議会では、県に対して重度障害者医療費助成制度における窓口無料化の継続を申し入れるよう提言したが、その後の経過を伺いたい。

答 福祉介護課長 窓口無料化から自動償還方式への移行は、制度の内容に未確定な部分が数多く、判断材料が乏しいことから、県に対する可否の回答を保留している。

問 新学習指導要領に基づいた、確かな学力育成プロジェクトの取り組みを伺いたい。

答 教育長 このプロジェクトは、子どもたちが安心して教育が受けられる環境を、学校・地域・家庭が共に考え実践するためスタートした。社会総ぐるみで、質の高い教育の実現を目指して取り組んでいきたい。

問 授業時間が10割増えているが、子どもたちに負担はないのか。

答 教育長 子どもたちの意識の高まりや頑張りが増え、負担を少なくすると考える。そのためにも、教師の力量を高めて、意義ある充実した授業を展開するよう努めていきたい。

就学援助費の総額は3000万円を突破

問 本市における就学援助の支給状況を伺いたい。

答 教育総務課長 平成23年度の実績は、小学校の要保護者が5人、準要保護者が226人、支給総額は1642万8045円。中学校の要保護者は5人、準要保護者が134人、支給総額は1450万7467円である。

問 行政組織機構の見直しにより、地域総合局の名称が支所に変わるが、住民サービスの縮小が心配される。特に高齢者等の交通弱者への対応を伺いたい。

答 政策秘書課長 支所になっても本庁との業務分担を適切にお知らせし、来庁者への対応をしっかりと行っていく。



岡 武男議員

政和クラブ

Q 確かな学力育成プロジェクトの成果は
A 全国平均値を大きく上回っている

Q 確かな学力育成プロジェクトの成果は

問 平成25年度予算は、どのような考えで編成するのか伺いたい。

答 市長 総合計画に基づき、主要事業に取り組み中。引き続き枠配分方式や職員提案方式を導入し、歳入の確保、経費の節減や特色ある事業の推進など、全庁挙げて創意工夫を行って編成していきたい。

問 予算規模と主要事業を伺いたい。

答 財政課長 主要事業は、宮光園の修復整備事業、市道下塩後22号線改良事業、旧本庁舎跡地を活用した多目的パーク整備事業、防災行政無線デジタル化整備事業、中央公民館リニューアル事業、学校給食センター建設事業などを予定している。予算規模は、平成24年度当初予算額を上回る積極型予算になる見込みである。

問 9月議会では「市内

小中学校におけるいじめ件数が増加した」との答弁があったが、現在の状況はどうなっているのか。

答 教育長 9月以降に、小学校で4件、中学校で12件の報告があった。いじめ問題に対しては、早期発見と早期対応など迅速かつ適切に対処していく。

問 甲州市確かな学力育成プロジェクトが始まって一年が経過したが、児童・生徒の変化はどのように現れているのか。

答 教育長 本市の児童生徒は、全国学力学習状況調査において学習面・生活面・道徳面が全国及び山梨県平均を大きく上回っており、取り組みの成果を実感している。

問 現在、指導主事は山梨市と共同設置しているが、指導部門の充実が必要になる中で、本市単独の設置はできないのか。

答 市長 山梨市とは東山梨地域の教育の中で一緒であることから、連携を取りながら進めていきたい。

問 松里保育所と奥野田保育所で実施した耐震診断の結果を伺いたい。

答 子育て対策課長 昭和52年に建築された松里保育所は、耐震判断基準値をクリアしていた。昭和36年に建築された奥野田保育所は、改修が必要であるとの指摘があった。

問 大藤保育所と神金保育所の統合計画は、どのように進まれているのか伺いたい。

答 子育て対策課長 統合は、中学校区である玉宮地区も含めて検討していきたい。現在、保護者など関係者に対する説明会や新保育所の候補地を選定するとともに、事前の許認可関係事務を進めている。

問 本市は住宅用太陽光発電システム設置費補助金の交付を開始したが、申請状況を伺いたい。

答 環境政策課長 11月30日現在の申請件数が128件、申請額は1102万2000円である。

問 県企業局は小水力発電施設の設置に向け、大菩薩の湯の敷地内で水流調査等を実施しているが、平成25年度には設置が決定されるのか。

答 環境政策課長 引き続き行われる調査の成果に基づき、県企業局が判断する予定になっている。



環境対策のひとつとして、今年度から住宅用太陽光発電システムの設置者に補助金支給がされている

廣瀬重治議員

フォーラム甲州



まほろばの里ふるさと振興財団は、道の駅大和などの指定管理者であったが、売上の減少等により解散となった

Q まほろば財団の解散による市の損害は

A 出資金5000万円は損害ではない

問 本市の指定管理団体であった財団法人まほろばの里ふるさと振興財団が解散した。解散までの経緯と原因、そして市が受けた損害を伺いたい。

答 観光交流課長 財団の収支は、平成20年度から累積収支が赤字となった。

また、東日本大震災の発生以降、売り上げが減少し、赤字が拡大する可能性が高まったことなどから解散に至ったものである。旧大和村で出資した5000万円は、寄附と同様であるため損害という概念は生じない。

答 観光交流課長 清算財源である約5335万円から清算に掛かる諸費用を引いた結果、残余財産は約2768万円となった。残余財産のすべては、本市に寄附をして最終的な清算を終えている。

合併前には累計で約7700万円が財団から旧大和村に寄附があった。また、財団解散に伴う残余財産の約2768万円も本市に寄附されている。

問 財団の解散にあたり総括が必要である。市長や課長は、税金を無駄にしたことによる失政を認め、市の損失に対して市民に謝罪しなければならない。この損失を市長はどのように考えているのか。

答 市長 経営の悪化や公益法人制度の改正など、社会環境が大きく変化する中で財団が幕を閉じたことは仕方がないと考える。

問 一部の人が税金を滞納することは認められないが、税金の収納率を上げるための対策を伺いたい。

答 収納課長 平成24年度における市民税等の滞納

また、東日本大震災の発生以降、売り上げが減少し、赤字が拡大する可能性が高まったことなどから解散に至ったものである。旧大和村で出資した5000万円は、寄附と同様であるため損害という概念は生じない。

状況は、6月1日現在で約6億6000万円である。やむを得ない事情による滞納なのか、それとも納税能力がありながらの滞納なのかを厳しく区別し、粘り強い折衝と適切な財産調査に基づき、速やかな滞納処分を行うことを基本姿勢として取り組んでいる。

問 多額な税金を長期的に滞納している方については、個人を特定できないように番号化し、そのリストを決算委員会に提出することができないか。

答 収納課長 個人を特定しなければ、滞納額等を提出することはできない。

市長など市三役は納税状況の報告を

問 市議会議員、そして市長をはじめとする執行部三役は、市民に対して税金の納入状況を報告する義務を持つべきと考える。まずは執行部三役が実行してほしいがどうか。

答 市長 わたしが報告する事は可能である。他の役職者に対しては「どうだろうか？」と話すことはできると思う。



田邊民男議員

政和クラブ

A

後世に伝承するため事業を推進していく

Q

上条集落

重伝建選定を目指す考えは

問 塩山下小田原の上条集落について、重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた対策事業の内容は。

答 生涯学習課長 城下町、宿場町などの伝統的建造物群及び歴史的風致を形成している環境を保護するために、市が定めた地区の保存措置を図るものである。特に価値の高いものは、重要伝統的建造物群保存地区として国が選定し、市が実施する保存修理や標識等の設置事業に対して、補助を受けることが可能となる。

問 上条集落の文化的価値を伺いたい。

答 生涯学習課長 切妻づくりの甲州民家群で、13棟が比較的狭い地域にまとまり存在している。中には県内に現存する最も古い切妻民家もあり、文化財としての価値が非常に高いものである。

問 現在、空き家がある

が、市はどのような対応を考えているのか伺いたい。

答 生涯学習課長 保存審議会等と検討していく。

問 市では保存地区選定に向けて、どのような取り組みをしてきたのか。

答 生涯学習課長 平成16年度に実施された観光資源保護調査後に、観音堂の修復や、市教育委員会による情報提供、地元説明会を開催した。国、県の視察を受け、現在は保存事業の実施について協議中である。

問 保存地区の選定を受けた場合、どのような計画で事業を進めていくのか。

答 生涯学習課長 地元説明会を開催し、同意を得ていきたい。また、保存条例を制定し、保存審議会において保存地区の範囲を審議するなかで土地計画法に基づき決定する。市教育委員会では平成25年度中に保存計画を策定し、選定に向

けて国に申請をしていく。

問 景観計画との関係や、周辺地域への影響はどうか。

答 生涯学習課長 上条集落以外に規制はないが、神金地区には歴史的価値の高い建造物や甲州民家があり、歴史的風致維持向上計画の適用を検討していく。

問 保存地区選定を目指す、市長の考えを伺いたい。

答 市長 上条集落の民家風景は本市の宝である。後世に伝承していくことが使命であり、積極的に事業を推進していく。

活用計画を伺いたい。

答 産業振興課長 モデル事業地を中心とした4・2軒を対象地とすることに同意が得られた。県岐阜県事務所の協力を得ながら、企業等へ農業参入の誘致活動を進めている。引き続き、担い手農業者や農業生産法人等から利用意向を確認し、甘草栽培の可能性も含めて取り組んでいく。

耕作放棄地解消事業
今後の活用計画は

問 神金地区の耕作放棄地解消モデル事業の今後の

答 産業振興課長 猟友会の意見を伺いながら、他の自治体や、県等の関係機関の動向を把握するなかで研究、検討していきたい。



特異な切妻づくりの甲州民家群として高い評価を受けている上条集落。重伝建選定を目指した事業の推進が望まれる

矢野義典議員

公明党



甘草屋敷由来の甘草を活用した事業を展開し、6次産業化の推進に取り組みでいきたい

Q 地方版子ども・子育て会議の設置は

A 設置を検討して計画策定に取り組む

問 介護保険での福祉用具購入費、住宅改修費等は、利用者がいったん全額を負担し、その後の保険給付で9割を受け取る償還払いが原則となっている。利用者が自己負担分の1割のみを事業者を支払えば良い受領委託払いを導入し、償還払

いとの選択性を提言するが考えを伺いたい。

答 福祉介護課長 特に低所得の方が介護保険制度を利用する利便性を考慮し受領委託払いが選択できるような市介護保険運営協議会で協議し、実施要綱等の作成や改正を進めていきたい。

問 認知症や障害者の方を異性が介護する場合、介護中であることを周囲に理解してもらうため、介護マークの導入を提言するが考えを伺いたい。

答 福祉介護課長 介護する方が、周囲から偏見や誤解を受けることがないよう、全国的に介護マークの導入が広がっている。本市においても、介護を受ける方が安心して暮らせるよう導入の検討を進めている。

問 国においては、平成25年4月に子育て環境の整備のため、子ども・子育て会議が設置される。本市に

においても、地方版子ども・子育て会議の設置が必要と考えるかどうか。

答 子育て対策課長 具体的運用前における準備段階での地方版子ども・子育て会議の設置については、行政だけでなく、子育てに関わる支援者等が、子育て支援の計画段階から参画できる仕組みとなっている。子ども・子育て本位の計画を策定する重要な機関であり、設置を検討し、計画策定に取り組んでいきたい。

甘草を活用した事業計画の内容は

問 甘草屋敷由来の甘草を、まちづくりの起爆剤とするため、今年度中に新日本製薬と包括的な協定を締結すると聞いているが、事業計画を伺いたい。

答 政策秘書課長 甘草の国内栽培に先駆的に取り

組んでいる新日本製薬の協力を得ることができた。培養技術等の栽培ノウハウを活用し、県とも連携しながら甘草を活用した事業を具体的に展開していきたい。現在、職員による甘草を活用した地域活性化ビジョンを作成している。平成25年2月には本市、新日本製薬、県の三者による包括的連携協定を締結するとともに、甘草屋敷内に見本園を整備する。また、市民や農業関係者等で構成する懇談会を設置し、市内に研究ほ場を設け、甘草栽培の可能性を調査していきたい。

問 リニューアルされる甲州市民文化会館について、自主公演を増やし、多彩な実演芸術に触れる機会を多くすべきと思うが考えを伺いたい。

答 生涯学習課長 今年度は、自主事業として、劇団四季の公演、自衛隊コンサート、親子観劇、ファミリー映画会等を実施した。ホール・舞台設備リニューアル工事が平成25年3月に完成予定であり、各種補助事業を取り入れながら、芸術文化の振興を積極的に推進していきたい。



廣瀬宗勝議員

甲輝会

Q 平成25年度予算の編成方針は

A 重要政策に対応するための予算である

問 市長の政治姿勢、これまでの市政への取り組み、今後の考え方を伺いたい。

答 市長 本市に住む誇りを次世代に継承・発展させるためのまちづくりにまい進してきた。平成25年度は、持続可能な市政を実現するため財政基盤を確立し、総合的かつ着実に進めていきたい。

問 平成25年度予算の編成方針を伺いたい。

答 市長 総合計画の基本目標に沿って、計画事業の着実な推進を図るとともに、重要な政策課題に対応するための予算である。

問 合併特例債の借入総額を伺いたい。また、平成25年度は、どのような事業に合併特例債を活用しているのか。

答 財政課長 現時点における事業部分の活用状況は、74億1330万円であり、発行可能額の58・4割

である。平成25年度は近代産業遺産整備事業、多目的ポケットパーク整備事業、学校給食センター建設事業等に活用予定であるが、その予算計上見込み額は、平成24年度当初予算額の17億5050万円を上回る見込みである。

問 市役所におけるインターネット犯罪対策及び情報漏えい対策を伺いたい。

答 総務課長 パソコン端末とサーバーにおける二重のウイルスチェックをしている。個人情報を取り扱う業務システムは、インターネットに接続していないためネット等を介した情報漏えいは心配ない。

問 市税、介護保険料、保育料、水道料などの滞納累積が進む中で、次年度に向けた徴収体制をどのように考えているのか。

答 政策秘書課長 一定額以上の滞納は、専門知識

を有する収納課に移管し、市税と一体化した徴収を行うため準備を進めている。

問 健康診断希望調査の実施結果と健診を実施した成果を伺いたい。

答 健康増進課長 調査票の回収率は81・4割であった。総合健診の受診者は、前年よりも645人、16・5割の増加となった。

問 インフルエンザの予防対策を伺いたい。

答 健康増進課長 65歳以上には、2000円の予防接種費を助成している。また、1歳から12歳までの子どもたちには、1回1500円の助成を行っている。

新型インフルエンザ対策は、現在行動計画の見直しと業務継続計画の策定に取り組んでいる。

んでいる。

問 近年における市産果実の生産状況を伺いたい。

答 産業振興課長 生産量及び売上額は、年々緩やかな減少傾向にある。

問 市役所旧本庁舎の跡地は、どのような整備を行うのか伺いたい。

答 都市整備課長 災害など緊急時の避難地としての機能を有した多目的ポケットパークを整備する。

問 市内道路の工事状況を伺いたい。

答 建設課長 市道下塩後22号線は平成25年8月頃の供用開始を見込んでいる。県道白井甲州線から国道411号までの延長550メートルは、平成25年度から新設改良事業を実施する。



国内有数の果樹産地として、甲州市ブランドの確立に向けた各種事業のさらなる推進が望まれる

総務

組織機構の見直しに伴い 地域総合局は支所に名称変更

総務常任委員会を12月17日と19日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市景観条例制定について

問 景観形成重点地区について伺いたい。
答 政策秘書課長 市全域で、13地区が候補となっている。今後、説明会を開

催し、地域住民の理解を得るなかで範囲、制限等を決定していきたい。

■甲州市支所設置条例及び甲州市行政組織条例の一部を改正する条例制定について

問 条例改正の具体的な内容を伺いたい。
答 政策秘書課長 勝沼・大和地域総合局を支所に名

称変更する。福祉介護課と健康増進課は事務事業等の増大により、それぞれ二分する。また、複数課で名称変更と事務分掌の改正を実施する。

■甲州市住民基本台帳カード利用条例の一部を改正する条例制定について

問 住基カードで、県立図書館の利用サービスを受

けることが可能になるとのことだが、手続きの方法を伺いたい。

答 市民生活課長 事前に市民生活課窓口で図書館利用カードとしての設定をしてもらい、その後、県立図書館で別途手続きが必要となる。

■甲州市税条例の一部を改正する条例制定について

問 入湯税の税率改正の内容と改正に伴う税収減の影響を伺いたい。
答 税務課長 現行の入湯客1日150円を、1泊150円、日帰り75円に改

正するもので、市税は約1500万円の減収が見込まれる。

■平成24年度甲州市一般会計補正予算(第5号)

問 財産管理費の庁舎等維持管理事業費に5000万円以上が計上されているが、詳しい内容を伺いたい。

答 管財課長 組織機構の見直しに伴い、第4会議室を撤去し、福祉介護課等の執務室のフロア改修、カウンスラー改修を実施する。また、現在、会議室が不足しているため地下会議室を3室新設する。



組織機構の見直しを実施する甲州市。市民サービスのさらなる向上と市政の効率的な運営が望まれる

教育民生

0歳児保育 前年比で91人の増加

教育民生常任委員会を12月13日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

■甲州市環境センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問 条例改正に伴う技術管理者の資格基準について伺いたい。

答 環境政策課長 10年以上の事務従事経験者や、講習を受講して資格取得した者の中から技術管理者を

選定していく。

■平成24年度甲州市一般会計補正予算(第5号)

問 障害者自立支援給付費が増額した要因を伺いたい。

答 福祉介護課長 就労

東雲共選所に 光センサー選果機等を整備

建設経済常任委員会を12月14日と19日に開催しました。主な審議内容を要約してお伝えします。

●12月14日開催

■甲州市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定め

る条例制定について

問 この条例は誰もが使いやすい公園を目指し、都市公園のバリアフリー化に関する設置基準を定めるものであるが、再整備の計画案は作られているのか。

答 都市整備課長 平成24年度末までに方向性を検討していく。

■平成24年度甲州市一般会計補正予算(第5号)

問 農林水産業費に500万円の補助金が計上されているが内容を伺いたい。

答 農業土木課長 牛輿地区と菱山地区にある笛吹川沿岸土地改良区のファームポンド(貯水槽)の上に、発電用太陽光パネルを設置するための調査費である。

■宮光園白蔵保存修復工事請負契約締結について

問 今回の入札は、応札が1社であり、落札率は100割であったが、入札を不成立にする考えはなかったのか。

答 管財課長 一般競争

継続支援B型利用者の増加や、同行援護を開始した事業所があり、サービス件数が増加したためである。

問 0歳児保育が増加しているとのことだが、現状を伺いたい。

答 子育て対策課長 平成23年11月時点が195人

平成24年11月時点が286人であり、前年比で91人の増加である。

問 就学援助の支給制度について伺いたい。

答 教育総務課長 各学校からの申請を受け、市教育委員会が認定し、7月、12月、3月の3期に分けて

支給をしている。年度途中の申請も可能である。

問 就学援助制度をどのように周知しているのか。

答 教育総務課長 当初に学校を通して各家庭へ制度内容についての文書を配布している。

■平成24年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 本事業会計基金の残額はいくらあるのか。

答 福祉介護課長 平成24年10月末現在で、約4400万円である。

問 地域密着型特別養護老人ホームの入所待機者数を伺いたい。

答 福祉介護課長 本市に所在する2施設で、それぞれ約100名が入所待機中である。重複申込者もいるため、実数はもう少し減少するものと考えている。

所施設等を再整備するための予算であると思うが詳しい内容を伺いたい。

答 産業振興課長 東雲支所と直売所の拡幅移転に合わせて、共選所施設、モモ光センサー選果機、集出荷前予冷施設が県補助金等により再整備される。



国道411号の拡幅に伴い移転する東雲共選所は、モモ光センサー選果機等も整備される(写真は中萩原共選所の光センサー選果機)



生活の多様化などで増加傾向にある0歳児保育。さらなる保育環境の充実を図っていきたい

入札参加資格委員会で審査を行った。応札が1社であっても入札は可能であるため執行したものである。

問 これからは応札が1社だけの場合、入札を不成立にする考えはあるか。

答 管財課長 特殊な工事が必要になる共同企業体

等の入札については、検討を進めていきたい。

●12月19日開催

■平成24年度甲州市一般会計補正予算(第6号)

問 農林水産業費の2億7435万円は、国道411号の拡幅に伴い、JAFルート山梨東雲支所、共選

表紙の写真

全国初の通年開催で「第28回国民文化祭・やまなし2013」がいよいよ開幕。1月14日は、藤木道祖神祭太鼓乗りが放光寺駐車場で行われました。役者に扮した地元住民の方が、大太鼓の上で歌舞伎の名場面を演じ、見物客を沸かせていました。



「甲州だれだれ!!」

No.26 「和食!! ようしょく!?!」 作・三森 清



市議会を傍聴してみませんか

今回の3月定例会は、以下のとおり開催を予定しています。市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場へお出かけください。

●3月定例会の開催予定

2月20日(水)	午後 1時30分～	本会議 (開会)
3月 1日(金)	午前10時～	本会議 (一般質問)
4日(月)	午前10時～	本会議 (一般質問)
6日(水)	午前10時～	常任委員会
7日(木)	午前10時～	常任委員会
8日(金)	午前10時～	常任委員会
11日(月)	午前10時～	予算特別委員会
12日(火)	午前10時～	予算特別委員会
14日(木)	午前10時～	予算特別委員会
15日(金)	午前10時～	予算特別委員会
21日(木)	午後 1時30分～	本会議 (閉会)

※会期の日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定しますので、決まり次第、市ホームページなどでご案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問合せください。

■お問合せ 甲州市議会事務局 TEL 32-2111 内線331

有料広告

上質なワイン豚をご賞味下さい。

配達も承ります



山梨ワイントン普及生産組合

代表 晦日正一

山梨県甲州市塩山上萩原1601番地
TEL・FAX 0553-32-0646

こうしゅう市議会広報『有料広告』を募集!!

(年4回発行 11,650部)

- 甲州市議会では、市議会広報の紙面に掲載する有料広告を募集します。発行は、年4回開会される定例会(3月、6月、9月、12月)閉会日の翌週末の4回です。
- 広告掲載料は1枠1回につき10,000円です。
- お申込み・お問合せ 甲州市議会事務局 TEL 32-2111 内線332

こちら編集室

■昨年12月の衆議院議員選挙はどのようには映りましたか? 投票率が低かったことは、政治に対して『期待していない』ということなのではないでしょうか? 多くの国民が懇願している景気の回復を甲州市のような地方に住む人たちが実感できるような最優先政策として多種多様な施策を投じて、一日も早くの実現を望みます。■甲州市が誕生して8年目を迎え、市議会議員の任期も残り10カ月となりました。議会広報編集委員会は、市民の皆様にお伝えすることを目標に

取り組んできました。より多くの方に読んでいただき、市議会を身近に感じていただくためには、議会広報から一方通行の発信だけでなく、皆様の意見や感想を取り入れた議会広報の発行を目指していかねばならないと考え、新たな取り組みを模索しています。ぜひ多くの市民の皆様のお声を聞かせ下さい。(一)

■議会広報編集委員会

委員長	曾根 益彦
副委員長	桐原 正仁
編集委員長	元久 久
編集委員	武久 久
委員	重三 重三
委員	古瀬 古瀬
委員	岡屋 岡屋
委員	古瀬 古瀬
委員	古瀬 古瀬